

# 第2回献血活動



平成 24 年 3 月 23 日 (金)  
於：中部遊商 1 階エントランス

事業・広報委員会主催の第 2 回目となる献血活動を中部遊商会議室にて行いました。  
当日は組員 35 社 59 名の参加者に協力をしていただきました。今回で第 2 回目となる献血活動ですが、また継続して定期的に活動していきますのでよろしくお願い致します。

## 献血サポーターとしての取り組み

医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力できる企業や団体のことを「献血サポーター」と言います。

中部遊技機商業協同組合は社会貢献活動の一環として献血サポーターへ参加しています。



3 月 23 日 (金) は献血の日です。



まずは受付をすませて



血圧を測ってから



血液検査をします



いよいよ献血！



みんなで協力して



尊い命を守りましょう



1万6800ミリリットルの血液が集まった

中部遊技機商業協同組合(安藤利彦理事長)は3月23日、名古屋市中区の組合事務局において、組合員を対象にした献血活動を実施した。

同組合ではエコドライブ講習や事務所内の照明をLEDに変更するなど、組合一丸となった社会貢献活動を積極展開してお

り、今回の献血活動もその一環として昨年より開催。昨年は東日本大震災の直後という事もあり、多くの組合員が参加。被災地に対する目に見える形での支援となった。

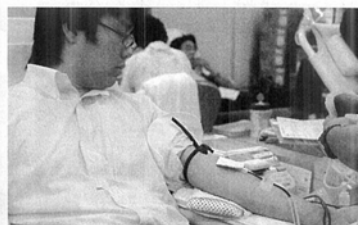
今年は雨天での開催にも関わらず、70名の組合員が参加。受付での聞き取り調査(3日間の内

に出血を伴う歯科治療や睡眠時間等の聞き取り調査)の結果、45名が献血を行い約1万6800ミリリットル(400ミリリットル/39名・2000ミリリットル/6名の血液が集まった。

昨年は組合事務局前に献血車を設置して行ったが、今年には会議室を利用しベッドを6床設置。昨年は4床より効率よく献血が行える体制を整えた。献血を終えた



組合オリジナルの体脂肪計



昨年に引き続き、組合員の意欲は高い

組合員には、記念品として、タオルやジュース、組合オリジナルの体脂肪計(400ミリリットルの献血を行った人のみがプレゼントされた。

**中部遊商**

**2回目となる献血活動を実施**

中部遊技機商業協同組合  
「献血活動実施」



3月23日、中部遊技機商業協同組合(安藤利彦理事長)は中区の組合事務局にて、組合員の協力を元に献血活動を実施した。

以前より社会貢献活動を展開し、エコドライブ講習会等、組合員を軸として積極的に行動している。今回の献血活動も昨

3月23日、中部遊技機商業協同組合(安藤利彦理事長)は中区の組合事務局にて、組合員の協力を元に献血活動を実施した。

70名近くの組委員が参加し、事前の聞き取り調査の後、45名の組合員が献血を行い約1万6800ミリットルの血液を集めた。本年度は、会議室を利用し、

に続き、第2回目として開催。当日は多数の組合員が参加し、献血に望んだ。

より効率度を高め献血が行える体制を完備した。献血終了後、組合員に対して記念品として、生活用品及びオリジナル体脂肪測定器が贈呈された。同組合は今後も前向きな活動を継続する意向である。

TOPICS > **13**

中部遊商



献血活動には組合員59名が参加した

**社会貢献活動の一環として組合員35社59名が献血活動に参加**

組合は日本赤十字社の「献血サポーター」に登録

中部遊商は3月23日、名古屋市内の組合ビル1階エントランスにおいて献血活動を行った。組合の献血活動はこれが2回目。活動当日は組

員35社、合わせて59名の参加者が献血に協力した。集まった組合員は受付を済ませて血圧測定、血圧検査を経てから、簡易ベッドで献血を行った。同組合は社会貢献活動の一環として、献血に積極的に協力したい企業や団体が参加する日本赤十字社の「献血サポーター」に登録している。事務局は「今後も定期的に献血活動を行っていきたい」としている。

またこの日の献血会場では、森林整備や緑化のための「緑の募金」も実施。同29日には、1月の臨時総会時の際などに集められた浄財と合わせ合計3万0053円を愛知県緑化推進委員会に寄付した。